ヒシエキスの
うれしい効果

〈セントウィメンズクリニックHPより
一部抜粋して掲載しております。〉

Saint Women's Clinic

セントウィメンズクリニック

Gynecology Obstetrics and Reproduction
Woman's Health Care

婦人科・産科・生殖医療（ホルモン異常・不妊・不育特殊治療）

埼玉県浦和駅東口徒歩1分の新設備ウィメンズクリニック
浦和駅西口より徒歩3分



トップページはこちらから

診療内容概要

不妊症相談（女性不妊・男性不妊）　不妊症相談
高度生殖医療（人工受精、体外受精、顕微受精）　看床不全について
月経異常（月経不順、無月経、月経困難症など）の相談
ホルモン異常の相談　思春期・更年期相談　婦人感染症相談　婦人科癌検診・乳癌検診

コロナウィルス変異株感染も爆発的に増加してきました。身を守る行動をお願い致します。現在はデルタ株感染が主流ですが、そのうち、南米由来のラムダ株などが主流になってくるかもしれません。変異したどんどんと感染力の強い株が生き残っているように感じられます。コロナワクチンも重症化しないように、数か月後にブースター接種を行った方が良いとの意見もあります。当院では、7月中旬より、新型コロナウィルス第5波発生に合わせて、体外受精をお受けになる患者様だけに無料配布していたヒシエキスを、一般患者様にも5回目の無料配布することと致しました。一人1回受け取れます。人員の少ない日曜祝日や夜間診療の時間帯では配布はできません。通常の診療時間内であれば受け取れます。当院では、ヒシエキス服用により、NK細胞活性の平均約40%の上昇を確認しており、職員全員に内服していただいております。コロナウィルス感染が蔓延しているこの1年半内で、職員で感染が確認されたのは家族内感染が発生した一人のみであり、しかも、家族内で、ご本人のみほとんど症状が発生しておりません。

先日の埼玉県産婦人科医会前期学術集会におきまして、当院の40歳以上高齢不妊患者様のART(高度生殖医療)において、ヒシエキスが臨床的妊娠率を30%以上、出生率を25%以上引き上げる効果があることを発表させていただきました。細胞の老化と関係する細胞内の終末糖化産物を減少させる効果を持つヒシエキスが、ARTの成績を向上させる効果が当院でも確認されました。

ところで、最近危惧しているのは、すでに凍結保存している良好な受精卵をお持ちの患者様が、2人目のご妊娠をご希望されず、廃棄を希望される方が50%超もいるという事態です。胚移植を受ければ、ほぼ確実に妊娠するような患者様が、妊娠を希望されず、お子様は1人だけでいいとお考えの患者様が非常に多くなってきていると痛感しております。胚移植に対する助成金の拡充もあることをお伝えしているのですが、それでもご希望されない方が多いというのは非常に危惧される状況です。もちろん、3人目は希望しないという方は、以前より普通にありましたが、2人目も希望しないということは、ここ最近に多く、非常に残念で、今後、日本にとっては大きな損失となるでしょう。以前は、こんなことはなかったのですが、これもコロナウィルス感染の影響でしょうか。また、子育ての負担をかなり感じていらっしゃる患者様も多いようです。もっと子供を育てやすい環境づくり自体が非常に大切な状況であると思われます。

ウィメンズクリニック神野の神野正雄先生が5年以上前より、高齢不妊の糖化による（卵や子宮内膜）などの老化に対して、ヒシエキスの改善効果を研究されておられましたが、一昨年4月の日本産婦人科学会総会や昨年7月の受精着床学会でも、再度追加報告をされており、かなりの改善が見込めるとのことです。神野先生は、年回りがよければ慶應の教授にもなっていたような非常に優秀な方です。ヒシエキスには糖化による老化を抑える作用（抗糖化）があり、これが卵の質および子宮内膜の質にも効果的なようです。（詳細に関しては診察時にお話しさせていただきます。ご関心のある方はお聞きください。）服用の仕方にも注意事項がありますので、院長にお尋ねください。